



高齢者みまもり応援団だより

兵庫区では、認知症高齢者にやさしいまちづくりを目指して取り組んでいます。
今回は認知症声掛け訓練と認知症の方への対応の心得についてご紹介します。

兵庫区内において認知症声掛け訓練を実施しました！

この訓練は、認知症の高齢者が道に迷っている場面を想定し、地域の方々が実際に声をかけるものです。

浜山あんしんすこやかセンター（2023年9月10日開催）

第一部では、病院の精神保健福祉士の方が認知症の症状やそのケアについての講義を行い、基礎的な知識を学びました。

第二部では、実際に住民の方と声掛けの模擬訓練をしました。

訓練後のアンケートでは、「具体的な事例がありとても参考になった」、「声かけが大切なことを学びました」等の意見を頂き、センターとしてもこの機会が今後の地域活動に役立てられると実感しました。



中道あんしんすこやかセンター（2023年11月9日開催）

10月24日開催した事前研修会では、西部調剤薬局の講師が認知症の人への対応について講義を行いました。

当日は、湊西地区の民生委員の方々と関西スーパー大開店で実施しました。参加者より「認知症と思われる方に声かけすることは難しい」と意見を頂き、高齢者が普段から地域の方々と信頼関係を築くことの大切さがよくわかりました。



兵庫平野・みなとがわあんしんすこやかセンター（2023年11月23日合同開催）

当日は両圏域に住む小学生12人、保護者6人、民生委員、自治会、介護事業所や兵庫区医師会、ボランティア、認知症当事者の方、行政等総勢60名ほどの方が集まり、訓練を行いました。

はじめは神戸昇天教会で認知症についての学習を行い、見守り応援団に登録している店舗や介護事業所、商業施設や公園などをグループごとに訪ねました。認知症クイズやスタンプラリーに挑戦し、道に迷った高齢者への声かけを行いながら湊山地域福祉センターまで歩きました。参加者から、「私たちも地域に貢献できて嬉しい！」という声もありました！



認知症の方への対応の心得 “3つの「ない」”

1 驚かせない 2 急がせない 3 自尊心を傷つけない

<< 具体的な対応の7つのポイント >>

-  **まずは見守る**
認知症と思われる方に気がついたら、一定の距離を保ちつつさりげなく様子を見守ります
-  **余裕をもって対応する**
こちらが焦りを感じていると、相手を動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう
-  **声をかけるときは一人で**
複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ一人で声をかけます
-  **後ろから声をかけない**
一定の距離で相手の視野に入ってから声掛けを。唐突な声かけは禁物
-  **相手に目線を合わせてやさしい口調で**
身体を低くして目線を同じ高さにして対応します
-  **おだやかに、はっきりした口調で**
高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりはっきりした滑舌を心がけます
-  **相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する**
認知症の方は急かされることが苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう

出典元：認知症サポーター養成講座 テキスト

みまもり応援団のご紹介



荒田圏域の小西屋さんです。
いつもあたたかい見守りありがとうございます。



← みまもり応援団の目印♪
ハートのステッカー

兵庫区高齢者みまもり応援団って…？

地域の事業者・団体・関係機関等の皆様が、日常の生活や仕事の中で、何となく気になる高齢者を、何気なく目配りし、ゆるやかに見守っていくものです。
地域の中でちょっと気がかりなことに気づいたらお近くのあんしんすこやかセンターまで！

編集後記

令和5年度高齢者みまもり応援団だよりは、21号ではみまもり応援団の保存版、22号はみまもりチェックシートを掲載しました。23号とともに今後の見守り活動にお役立ていただくと幸いです。
みまもり応援団だよりのバックナンバーは兵庫区のホームページに掲載予定です。
紙面とあわせてご覧ください。

